



タブレット PC の動画記録機能と Google Forms のアンケート機能を用いたロールプレイ活動における自己調整を図る工夫
(NEW HORIZON English Course 1 Unit 5 A Japanese Summer Festival)

- ①話・発
- ②協・整
- ②協・制
- ②評価
- ③タブ

【ここがポイント！】

- ①「動画記録機能を活用したセルフモニタリング」
タブレット PC (Windows 10) の動画記録機能を使い、生徒一人一人が自分の言語活動の様子を記録し、その場で視聴する。
- ②「Google Forms のアンケート機能を活用した相互評価によるフィードバック」
ロールプレイ等の言語活動について、Google Forms のアンケートフォームで生徒同士が相互評価を行う。指導者は得られた情報を取りまとめ、指導者からの評価や助言とともに、生徒一人一人にフィードバックする。
- ③「継続的なモニタリングを通じた自己調整」
①、②の一連のフィードバックを継続的・複合的に行うことで、自己評価能力を向上させ、自己調整を図ることができるようにする。

【実践の目標】

学習した語句や文などを意味のある文脈の中で、インプットとアウトプットを繰り返し行い、その様子をモニタリングすることで、英語表現の質を高め、即興で表現する力を高める。

【実際の場面】

1. 教科書の記述に頼らず、リスニングに集中して内容を把握する
教科書を閉じて音声を数回聞いた後、Picture Ordering に取り組んだ。その後、指導者がデジタル教科書の Picture Card で作成した PPT を使い、Oral Introduction による答え合わせを行った。(スクリプトの概要把握)

2. モデル音声を基に発話の個別練習を行う
Lentrance もしくは Teams にアップロードしたモデル音声をヘッドセットで聞きながら、発話トレーニングを生徒の自己選択で行った。本単元では、パラレルリーディング→(コンテンツ) シャドーイング→レシテーションの順に負荷を高めた。



3. グループで前回の活動の振り返りを行う
リーダーを中心に、前回のロールプレイ (ここでは Unit 4) の良かった点と課題点を改めて振り返り、今回の重点ポイントを話し合った。

4. グループで役割分担 (Role-sharing) を行う
グループで、ロールプレイの役割分担を行った。また、ストーリーの文脈に合った表現にするためにはどうすれば良いかを話し合った。

5. グループと個人の目標を設定・修正する
単元ルブリックに沿ってグループ目標を設定・修正した。また、グループ目標を踏まえ、個人目標と目標達成のための手立てを、Google スプレッドシートにそれぞれ入力した。(相互に閲覧が可能に一覧とした。)

6. リハーサルの記録動画を全員で視聴し、気づきや改善点等を出し合った上でパフォーマンスを行う
グループでの打ち合わせの後、スタンドに固定したタブレット PC でリハーサルの動画を記録した。グループでその動画を視聴し、気づきや改善点等を出し合った。それを踏まえてパフォーマンス (本発表) を動画で記録し、成果物として Teams にアップロード (提出) した。

7. 各グループのパフォーマンスの記録動画を視聴し、相互フィードバックを行う
タブレット PC で各グループの記録動画を個々に視聴し、Google Forms で相互評価を行った。

【成果と課題】

- 【成果】
- 動画記録機能やアンケート機能を活用することで、手軽にセルフモニタリングを行うとともに、継続的に相互評価等をフィードバックできた。その結果、よりの確な自己分析を行ったり、主体的に自分の英語表現の質を高めたりする生徒が増えた。
 - 単元ルブリックを共有した上で、言語活動の目標と目標達成のための手立てを自己決定させることで、言語活動に対する意欲が向上し、主体的な学びが促進された。
- 【課題】
- 生徒が提出した評価を指導者が整理するため、授業時間内でのフィードバックができていない。今後は、即時にフィードバックする手法にも挑戦したい。